

第5章 温室効果ガス排出量削減目標および再生可能エネルギー導入目標

5.1 温室効果ガス排出量の削減目標の設定

温室効果ガス排出量の削減目標を以下のとおり設定します。

本市では、省エネルギーの推進および再生可能エネルギーの導入により、2013 年度と比較して 2030 年度(短期)までに温室効果ガス排出量を約 292 千 t-CO₂ 削減します。

なお、2040 年度(中期)にはカーボンニュートラルに向けた削減率 78%を目指し、2050 年度(長期)にはカーボンニュートラルの達成(削減率 100%以上)を目指します。

2030 年度目標 (短期)	温室効果ガスを約 292 千 t-CO ₂ 削減 カーボンニュートラルに向けた削減率 52%
2040 年度目標 (中期)	温室効果ガスを約 434 千 t-CO ₂ 削減 カーボンニュートラルに向けた削減率 78%
2050 年度目標 (長期)	温室効果ガスを約 510 千 t-CO ₂ 削減 カーボンニュートラルに向けた削減率 100%

5.2 再生可能エネルギーの導入方針

本市の再生可能エネルギーの導入状況および導入ポテンシャル量を踏まえて、2030年度、2040年度、2050年度における再生可能エネルギー導入方針を設定します。

2030年度に向けては、現状、既に技術開発が進んでおり、他の再生可能エネルギーと比較して導入が比較的簡単な太陽光発電を中心に再生可能エネルギーの導入を図ります。

2040年度、2050年度に向けては、将来的な技術開発(次世代エネルギーの活用など)を想定し、太陽光発電のさらなる導入に加え、それ以外の再生可能エネルギー(陸上風力発電、洋上風力発電、木質バイオマス発電など)の積極的な導入を推進します。さらに、現状の非電力需要の電化を推進し、それらを導入した再生可能エネルギーにて賄うことで、カーボンニュートラルの達成を目指します。

表 再生可能エネルギーの導入方針

再生可能エネルギー		2030年度			導入率の設定根拠(施策など)
		導入率	導入目標量		
			MWh/年	TJ/年	
電気	太陽光(建物系)	47%	202,003	727	・新築、既築住宅への太陽光発電の導入(全世帯の20%) ・事業所への太陽光発電の導入(全事業所の30%)
	太陽光(土地系)	7%	57,730	208	・営農型太陽光発電(耕作地の5%:57ha、耕作放棄地の10%:65ha)の導入
	陸上風力	23%	271,075	976	・陸上風力発電の導入(既存のFIT認定分)
	洋上風力	0%	0	0	―
	木質バイオマス	0.00002%	32.49	0.12	・未利用材(3,178m ³ /年)を活用した木質バイオマスの導入
小計		―	530,841	1,911	―
熱	産業系	―	―	(1,913)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	家庭系(民生)	―	―	(311)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	運輸系(自動車)	―	―	(382)	・自動車(公用車を含む)のEV化
	小計	―	―	(2,606)	―
合計		―	530,841	1,911	―

再生可能エネルギー		2040年度			導入率の設定根拠(施策など)
		導入率	導入目標量		
			MWh/年	TJ/年	
電気	太陽光(建物系)	69%	294,148	1,059	・新築、既築住宅への太陽光発電の導入(全世帯の40%) ・事業所への太陽光発電の導入(全事業所の50%)
	太陽光(土地系)	12%	100,318	361	・営農型太陽光発電(耕作地の10%:114ha、耕作放棄地の15%:98ha)の導入
	陸上風力	23%	271,075	976	・陸上風力発電の導入(既存のFIT認定分)
	洋上風力	0.002%	104,332	376	・洋上風力発電の導入(新規の風車5基分)
	木質バイオマス	0.00003%	38.81	0.14	・未利用材(3,796m ³ /年)を活用した木質バイオマスの導入
小計		―	769,912	2,772	―
熱	産業系	―	―	(1,493)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	家庭系(民生)	―	―	(243)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	運輸系(自動車)	―	―	(298)	・自動車(公用車を含む)のEV化
	小計	―	―	(2,034)	―
合計		―	769,912	2,772	―

再生可能エネルギー		2050年度			導入率の設定根拠(施策など)
		導入率	導入目標量		
			MWh/年	TJ/年	
電気	太陽光(建物系)	81%	345,281	1,243	・新築、既築住宅への太陽光発電の導入(全世帯の60%) ・事業所への太陽光発電の導入(全事業所の70%)
	太陽光(土地系)	17%	142,433	513	・営農型太陽光発電(耕作地の15%:170ha、耕作放棄地の20%:131ha)の導入
	陸上風力	25%	300,385	1,081	・陸上風力発電の導入(既存のFIT認定分+新規の風車10基分)
	洋上風力	0.004%	208,664	751	・洋上風力発電の導入(新規の風車10基分)
	木質バイオマス	0.00003%	45.16	0.16	・未利用材(4,418m ³ /年)を活用した木質バイオマスの導入
小計		―	996,809	3,589	―
熱	産業系	―	―	(1,301)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	家庭系(民生)	―	―	(212)	・次世代エネルギー(水素・アンモニア・合成燃料など)の使用によりゼロになる
	運輸系(自動車)	―	―	(260)	・自動車(公用車を含む)のEV化
	小計	―	―	(1,772)	―
合計		―	996,809	3,589	―

注)導入率は、再生可能エネルギー導入ポテンシャルの総量に占める再生可能エネルギー導入目標量の割合を示しています。

5.3 再生可能エネルギーの導入目標の設定

本市の再生可能エネルギーの導入状況および導入ポテンシャル量を踏まえて、具体的な施策を行うことにより、2021年度比で、2030年度は2.8倍程度、2040年度は4.1倍程度、2050年度は5.3倍程度の再生可能エネルギーの導入を目標とします。

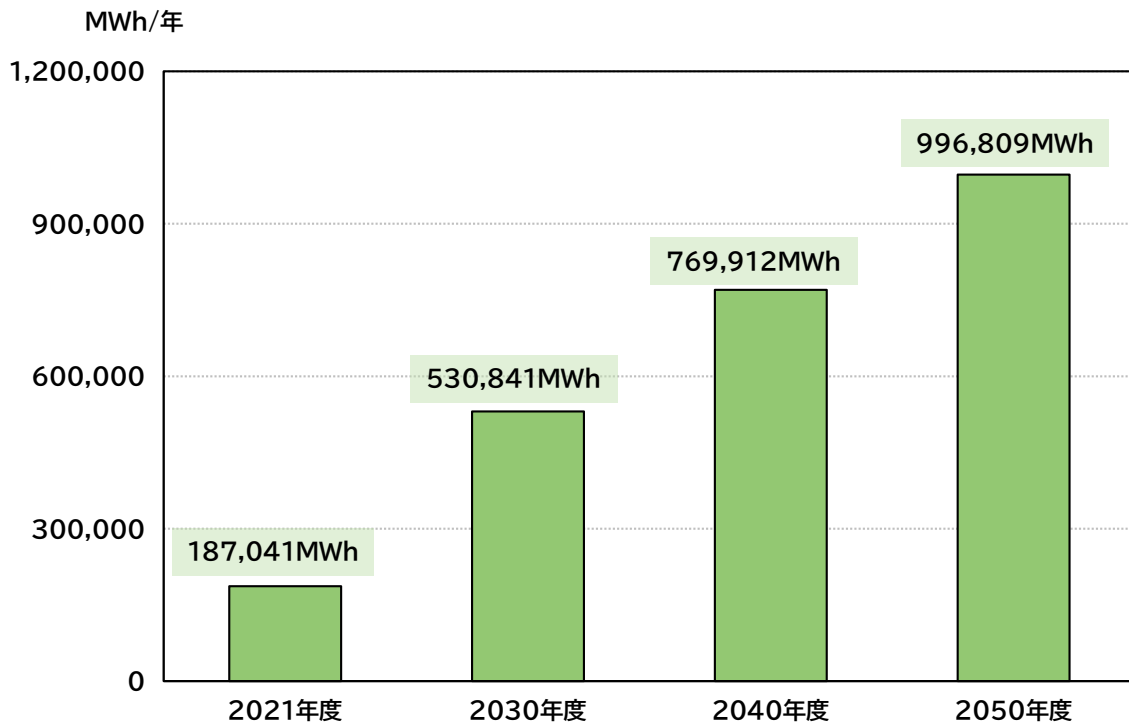


図 再生可能エネルギー導入目標

表 再生可能エネルギー導入目標

	実績値	目標値		
	2021年度	2030年度	2040年度	2050年度
再生可能エネルギー導入量 (MWh/年)	187,041	530,841	769,912	996,809

5.4 森林吸収量に関する目標の設定

森林のCO₂吸収量の算定結果を踏まえ、現状の森林吸収量を今後も維持することを目指し、森林吸収量の目標を196.3千t-CO₂/年と設定します。